

令和7年度、准校長（高等部担当校長）として着任いたしました、紙野 泰彦です。前任は大阪市内にございます思斉支援学校で4年間、その前はこの茨木支援学校で2年間、その前は守口支援学校で3年間、教頭業務を担当しておりました。修行を積んで故郷に戻ってきたといった思いです。

さて、新たなスタートにあたり、私の思いをお伝えしたいと思います。本校は、「個々の子どもに寄り添う支援と教育実践の追求」を合言葉に、児童生徒一人ひとりの「学校楽しい！」「友だちとがんばる！」という気持ちを育み、一人ひとりが自分の可能性を信じ、自己肯定感を育みながら成長できるよう支援することをめざしています。前年度の学校教育自己診断では、保護者の皆様から、子どもたちが学校に行くのを楽しみにしているという回答が90%を超え、また、教職員からは、子どもの課題や家庭のニーズに即し、将来に向けて指導しているという項目で、こちらも90%以上という高い評価を得ています。これは、本校のあたたかい雰囲気と、保護者の皆様との密な連携、そして教職員の熱意と専門性が評価されているものと考えられます。



令和7年度の学校経営方針にもありますように、本校は、個々のニーズと障がい特性に応じた専門性のある支援を行うこと、社会自立をめざし小学段階からキャリア教育を実践すること、そして校内支援の充実と共同及び交流学习の活性化を重点に取り組んでまいります。特に高等部では働く意欲や自分らしく生きていく力を育むことを大切にしていきます。

また、本校は、地域における支援教育の中心的役割を担い、地域と共に児童生徒を育てることができる場となることをめざしています。自己診断の結果にも示されているように、保護者の皆様との信頼関係を基盤に、地域の学校の支援教育力向上への貢献や、児童生徒の交流及び共同学習の推進など、地域社会との連携をより一層深めてまいります。

私は、子どもたちのために「最善を尽くす」ことを常に心掛けています。子どもたちの笑顔のため、そして一人ひとりの未来のために、皆様と共に力を尽くしてまいります。

学校はチームです。教職員が互いを尊重し、支え合い、子どもたちにとって茨木支援学校が最高の学び舎となるよう、力を合わせてまいります。私自身も、茨木支援学校に係るすべての皆様の声に耳を傾け、共に考え、行動する准校長でありたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和7年4月1日
大阪府立茨木支援学校
准校長 紙野 泰彦